



ランチョンセミナー 16

# 高たんぱく・ エネルギー制限を スタンダードに ～重症患者の栄養療法～

2017

10/25 **水**

12:30 ▶ 13:30

第8会場

リーガロイヤルホテル大阪  
タワーウイング2階「桐」

〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-68

座長 **小谷 穰治** 先生

神戸大学大学院医学研究科外科系講座 災害・救急医学分野 教授  
兵庫医科大学 救急・災害医学講座 特別招聘教授

演者 **西田 修** 先生

藤田保健衛生大学医学部 麻酔・侵襲制御医学講座 主任教授

【ランチョンセミナーは、整理券制です】

配布場所：リーガロイヤルホテル大阪 タワーウイング 3階 ロビー

配布日時：10月25日（水）7：00～12：00

当日開催セミナー分のみ発券。

整理券がなくなり次第、配布を終了いたします。

有効時間：整理券は、セミナー開始直後に無効となります。

共催

第45回日本救急医学会総会・学術集会

ネスレ日本株式会社 ネスレ ヘルスサイエンス カンパニー



Nestlé Health Science

Where Nutrition Becomes Therapy

## 高たんぱく・エネルギー制限をスタンダードに ～重症患者の栄養療法～

西田 修 先生

藤田保健衛生大学医学部 麻酔・侵襲制御医学講座 主任教授

近年、救急医学・集中治療の現場では栄養療法が重視されつつあり、早期経腸栄養及びエネルギー投与量&投与方法を中心とした管理が主流となっている。

その反面、エネルギー、早期経腸栄養と並んで重要であるたんぱく質投与はなおざりになりがちである。SCCM・ASPENガイドラインで『エネルギーとは独立して評価・管理すべし』、日本集中治療医学会ガイドラインにおいても『1.2g/体重/日以上摂取』が推奨されているが、日本における重症患者への投与量はその半分程度であり、栄養管理の喫緊の課題として取り組む時期に来ていると考える。

本セミナーでは、まず、海外での重症患者への高たんぱく質投与の最新の知見と具体的なたんぱく質の投与方法について解説する。さらに、自施設で実践している高たんぱく質投与（目標2.0g/kg体重）を中心とした栄養管理戦略の取り組みを紹介する。

- ・重症病態におけるたんぱく質摂取の臨床的意義
- ・海外における高たんぱく質投与の研究と投与の実践法
- ・自施設におけるたんぱく質投与とアウトカム
- ・AKI合併患者におけるたんぱく質投与はどうか